

### 栄章関係

長野市陸協から 平成14年度栄章7名が推薦されました。おめでとうございます。

日本陸連関係では、秩父官章に永年高校の教師として数々の名選手を育成され、また陸協では普及強化委員長、記録委員長、審判委員長を歴任されました藤本勝彦先生、平沼亮三先生には、常にトップアスリートを育成されている長野日大高校の碓井真先生、春日弘章には長野吉田高校でインターハイ、国体で大活躍した土屋智美さん、長野陸協関係では指導者功績章には駅伝監督の田中哲広さん、今も現

役選手で活躍している芳川千恵さん、勲功章には国体で活躍した長野工業高校の宮沢洋平君、上記の土屋智美さんに、巾三段跳で活躍した長野西高校の佐藤賢一君の計7名が推薦されました。長野陸協関係は先般の春季大会で表彰されました。今日までのご努力に心より拍手をおくりたいと思います。



長野市陸協会報

# 創刊号

平成15年5月16日

発行所 長野市陸上競技協会  
発行人 浦野義忠  
編集人 早川千吉郎

### 平成15年度 長野市陸協競技日程

期日	競技会
4月29日(日)	第86回長野市内高校春季大会
5月5日(月)	第3回北信地区記録会
4日(日)	第34回名大・信大対抗陸上
9(金)~11(日)	第110回北信高校陸上
18(日)	長野市スポーツフェスティバル
25(日)	第34回長野市身障者大会
6月1日(日)	第20回北信小学生大会
8(日)	第42回北信中学
8月23(土)~24(日)	第45回北信選手権
9月5(金)~7(日)	第111回北信高校新人陸上
14(日)~15(月)	全国ろうあ者大会
21(日)	長野県マスターズ記録会
10月3(金)~5(日)	第18回全国22国公立大学
18(土)	第4回北信地区記録会
12(日)	第17回飯綱マラソン
26(日)	第87回長野市内高校秋季大会
11月16(日)	テレビ信州ちびっこマラソン

### 平成15年度 長野市陸上競技協会 会議等の日程

- 4月12日(土) 新会員歓迎会
- 5月16日(金) 理事会  
(北信選手権種目の決定 広告依頼)
- 7月18日(金) 北信選手権組み合わせ
- 9月11日(木) 理事会(栄章関係)
- 11月11日(火) 駅伝社行会
- 11月27日(木) 祝勝会 忘年会
- 1月15日(木) 理事会
- 2月21(土)22日(日) 研修旅行
- 3月13日(土) 総会

SHINANO MATE  
SENSITIVE BRAND CLOTHING FOR ALL WEATHERS

祝 長野市陸協会報創刊号

ATHLETIC UNIFORM

株式会社 **しなのメイト**

〒389-0606 埴科郡坂城町大字上五明992-2  
PHONE (0268) 81-1336  
F A X (0268) 81-1337

### 会長就任のご挨拶

会長 伊藤利博

長野市陸協の会長の大役を仰せつかり責任の重さを痛感しております。会員の皆様方のご協力をいただき、隆盛ある市陸協を導いてまいりたいと思っています。

今の世の中は、正に改革の時代です。市陸協に新しいアイデアを取り入れて、前向きな姿勢で進めて行きたいと思っております。

審判員および選手の登録数が200名弱の会員をまとめていくことは大変なことだと思います。それぞれの会員の皆様方が「和」の精神を持って協力していただき、また我々船頭が舵取りを誤った時は、会議の場で修正していただき、また皆様方が納得のできる答えを出していただき気持ちの良い市陸協の運営を図っていきたくと思っています。

まず手始めとして、審判員の高齢化にともなう新会員の

呼び掛けと、B級審判を取得された会員を大切にすることも歓迎会を実施したり、長年中断しておりました会報「動き」の復活、また県縦断駅伝の優勝など長野市内の選手の活躍が市陸協発展につながっていきますので、そのためにも物心両面に渡り応援していかなければと考えております。

また、会員の和を図るために、1泊の研修旅行を計画し、人間相互の理解を深め浦野理事長が動き易い雰囲気作りをしていかなければと思っております。

いずれにしても会員の協力がなければ陸協は発展していきません。どうぞ皆様方のご協力をお願いして就任の挨拶とさせていただきます。

### 理事長就任のご挨拶

理事長 浦野 義忠

この度の役員改選により、平成15~16年度の理事長をお引き受けることになりました。県都、長野市にある支部陸協の理事長としてその責務の重さを痛感しております。大役を引き受けるに当たっては、学校と果たして両立できるかどうか熟慮した上、結論を下しました。しかしながら、引き受けました今でも不安が過ぎています。

そして、15年度はスタートしました。第5回長野マラソンも会員皆様それぞれの役割を精一杯やり遂げ無事終ることができました。また、5月4日(日)に開催されました長野県市町村対抗駅伝においても、土川駅伝部長を始め田中監督・高野主将を中心に、選手たちは日頃からの練習の苦しさ・己に克ち、相手チームを制した旺盛なファイトが、四連覇の偉業を達成してくれました。鷲沢市長へ優勝報告をし、目指す長野県縦断駅伝優勝奪還への弾みが付いたと思います。おめでとうございます。そして強いチーム・強い選手を育成するよう会員一人一人が今後とも、立場・立場でバックアップしていただければと思います。

私は、千歳国体長野県選手団旗手として参加をしました

29歳を最後に15年間の選手生活を退きました。その後、県陸協強化コーチ・強化部長・普及強化委員長・副理事長としてその大半は選手強化を担当してまいりました。その関係もありまして、選手の活躍・躍進が協会の発展になくなくてはならないと思います。特に、ジュニア層の底辺拡大には会員相互の連携・協力により熱意をもって取り組まなければならない課題でもあり、取り組んでいきたいと思っております。

また、新規に審判取得をされました会員に「現役選手年数の3倍は陸上競技に恩返しをしてほしい」と、話をしましたが、長く会員として市陸協発展のため貢献してほしいと思います。また、高校の競技者等に、将来会員になるような機会がありましたら審判取得をするよう前向きにはたらきかけをし、会員を増やし活性化をはかっていきたいと思っております。

おわりにあたり、会員の皆様と共に、生き生きとした活力と魅力ある市陸協を目指したいと思っておりますので、ご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

### 編集後記

15年度のスポーツ大会もいよいよシーズンに入って参りました。今年は、例年と異なり暑さが厳しくなる様に思われますが、長野市陸協の先生方、体調を整えながら審判員として連係プレーを大事にし、大会の時に会場でお会いできますことを或る一面での生きる喜びとし、また一言を交す大切さ、其の日を過ごして行きたいと思っております。

今後、長野市陸協発展のためにも多くの会員の先生方より色々な情報をお寄せいただき、長野陸協会報の姉妹版とも云える長野市陸協「動き」を発行していくこととなりますが、多くの方から大小を問わず情報として投稿を心よりお願い申し上げます。(早川)

### 新会員歓迎会

今年度新たに5名の若い審判員が、B級審判を取得されて市陸協会員として入会されました。4月12日の日にささやかではありましたが、市営陸上競技場会議室において歓迎会を開催しました。黒岩さんを除いては、全員が現役時代は選手として大活躍をされた方々です。黒岩さんは陸上部顧問としてこの道に入ってきました。どうぞこの若い審判員を激励しながら暖かく見守っていただきます。よろしくお願いします。



▲新会員 山田憲一 中村恵理香 丸山浩史 長原正夫 黒岩長美(欠席)



◀浦野理事長より丸山新会員にネームプレート贈呈

### 審判員になって

黒岩 長美

陸上競技とは無縁だった私が、今回審判員の資格を与えていただくことになったのは、勤務する長野工業高校の陸上競技部の顧問になったことからでした。顧問として、各大会の審判のお手伝いをさせていただいたり、出場する生徒に接する審判員の皆さんの様子を見させていただいて、審判員の皆さんのご苦労を知り、大変なお仕事だと思っていました。まさか、自分が審判員になるとは思っていなかったわけですが、せっかく仲間入りさせていただきまして、役目を果たせるよう努力したいと思っています。まだまだわからないことばかりで、ご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

### 審判をやるにあたって

中村 恵理香

今年から審判の資格を頂き、今度は選手としてではなく選手を支え大会の運営を手伝う事になりました。昨年はお手伝いという形で何度か大会に参加させて頂きましたが、自分が選手として走るよりも審判として参加する方が緊張する気がします。今まで選手として走る中で様々な先生方、友人、そして家族の支えがあり、私は走り続ける事ができたのだと思います。今度は私が、陸上を好きで走っている人達を支えていけるように精一杯頑張っていきたいと思っています。そして、その中で今後も沢山の事を学んでいきたいと思っています。そして、陸上が好きで陸上をやりたいと思ってくれる子供達の力になれる様に、陸上教室のお手伝いもしていきたいと思っています。

### B級公認審判員資格の取得にあたり

丸山 浩史

本年度より長野市陸協の審判員として様々な競技会で運営に係わるようになりますが、競技者としての経験をもとに、選手が気持ちよく走り、投げ、跳躍でき又、記録が出せる環境をつくり出せるよう努力したいと思います。最後になりますが、これからお世話になる諸先輩方の指導を頂きながら頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

### B級公認審判員として

長原 正夫

「自分が競技に携わった年月の3倍は、審判として務めなさい。」たいへん意味深い、重みのある言葉です。私自身、高校・大学と陸上競技を通して色々な事を学ぶ事ができました。競歩という陸上唯一の判定競技の中で、多くの審判員の先生方からアドバイスを頂き、自分の技術を高めていくことが出来ました。今後は、審判員として、少しでも恩返しができたらと考えています。陸上競技からは、長いこと離れており、たいへん未熟者ではありますが、色々勉強をさせて頂き頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

### 長野マラソン

### 第5回長野マラソン成功裡に終る



第5回長野マラソンは4月20日山の内町をスタート、オリンピックスタジアムにゴールする42.195kmに今年は4,714名の選手が挑んだ。沿道の熱心な応援もあり、5時間以内にゴールした完走者は、4,026名の多くを数えた。

(完走率85.4%)

長野市陸協審判員は会員の2/3弱の70名が大会運営にたずさわった。早朝より大変ご苦労さまでした。

### 長野マラソンを楽しむ

渡辺誠一(長野高専)

長野マラソンも春の風物詩として定着してきており、大会を運営する陸協に所属する私にとってとてもうれしいことである。私は、第1回長野マラソンコースの距離計測からお手伝いしていたこともあって、このコースを走ってみたいという気持ちが強い。第1回、第3回、第4回大会に出場していずれも完走することができた。また、第2回大会では距離計測、第5回大会では審判員として参加した。第4回大会では長岡市在住の方の伴走を行なった。伴走の経験のない私にとってぶっつけ本番であった。最初の5kmは人口密度が高いこともあり、走る方向や障害物の有無を伝えるのに苦労したが、だんだんコンビネーションがよくなってきた。スタート前にNHKテレビで紹介された関係で、10km過ぎから実名での声援を受けた。もう嬉しくて仕方がなかった。フィニッシュした頃には声がしゃがれて

いたが、完走した充実感は2倍であった。私は長野マラソンが好きである。スタート地点では北信五岳が目の前に広がり、爽やかな気分スタートすることができる。また、小布施橋を過ぎてから中間点までの堤防道路は私の地元で、大勢応援してくれるので、ここを走ると自然と笑顔が出る。桜、杏の花を見るとウキウキ気分になる。42.195kmは長丁場であるが終始飽きることがない。今年の大大会では初めてコース上で審判を行なった。そこではボランティアの丁寧な挨拶、仕事ぶりを目の当たりにした。苦しそうにしている選手に対して一生懸命声援を送っていた。頭が下がる思いである。今年完走者は4,000名を越えたのは嬉しいことである。第6回大会は新コースとなる予定であり、コース設定、道路整備、選手輸送方法、審判員の配置など再考しなければいけない課題が多くあるが、全員が完走できるような大会になればと願っている。

### 市町村駅伝

### 第13回市町村駅伝競走大会 長野市チーム堂々の4連覇達成

5月4日松本運動公園陸上競技場スタート、巡回コースで行なわれた第13回市町村駅伝大会において、堂々の4連覇の偉業を成し遂げてくれた。今年も近年になく接戦であったが、第5区でトップに立つと後続ランナーも安定した走りを見せて、他チームを引き離し、2位の駒ヶ根市チームに1分47秒の差を付けて堂々の優勝を果たしてくれた。この優勝が1月に行なわれる県縦断駅伝の引き金となってくれるのではないかと期待しているところです。長野市駅伝チーム、おめでとうございます。

### 四連覇を目指して

(長野市駅伝部監督) 田中 哲弘

我長野市チームは優勝、四連覇の達成目指し、選手・スタッフ一丸となり臨んだ第13回長野県市町村対抗駅伝競走大会は、晴天の中、松本県営陸上競技場をスタートに行なわれました。レースは近年にない接戦で、抜きつ抜かれつの駅伝の醍醐味というべく白熱した展開になりましたが、5区大沢、アンカー高野の区間賞の活躍もあり、優勝することができました。選手の力は元より、応援していただいた関係者、郷土の皆様方に感謝申し上げ、この四連覇を自信に、秋の県縦断駅伝でのV奪回を目標に一層練習に取り組みしていきたいと思っています。今後とも指導よろしくお願ひ申し上げます。